

道内の感染状況等について

【令和4年1月14日】

主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
1/13	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
全道	1	10.8% (223床) ↑	0.0% (0床) →	20.9人/週 (1091人/週) ↑	22.4人 (1172人) ↑	5.35 ↑	40.1% ↑	5.8% ↑
札幌市	1	10.8% (67床) ↑	0.0% (0床) →	24.3人/週 (476人/週) ↑	26.0人 (510人) ↑	4.37 ↑	40.5% ↑	5.5% ↑
札幌市を 除く地域	1	10.8% (156床) ↑	0.0% (0床) →	18.8人/週 (615人/週) ↑	20.3人 (662人) ↑	6.47 ↑	39.8% ↑	6.1% ↑
レベル1 移行指標		—	—	散発的に発生	—			
レベル2 移行指標		20%	20%	15人/週	20人			

※()は実数。 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

※年代別新規感染者数等の指標についても、別途モニタリングを実施するとともに、将来の病床数を予測するツールについては、今後、感染拡大局面における活用を検討。

総評 ①

【医療提供体制】

○ 療養者数、入院患者数は増加が続いており、全道の療養者数は10万人あたり22.4人、病床使用率は10.8%、札幌市の療養者数は26.0人、病床使用率は10.8%、札幌市以外の療養者数は20.3人、病床使用率は10.8%となっている。

【感染状況】

- 帰省や飲食などの行動歴が多く確認されており、年末年始及び連休における活動の活発化の影響により、感染者数が増加し、飲食店等における集団感染も連続して発生。感染経路不明の割合や陽性率も増加している。
- 新規感染者数は1日あたり300人を超えるなど大きく増加し、札幌市を含む石狩振興局管内をはじめ、全道各地で感染者が確認されている。10万人あたりでは、全道20.9人、札幌市は24.3人、札幌市以外の地域においても18.8人と、レベル2の基準である15人を超えた。
- オミクロン株については、これまで59人の感染が確認され、この中には市中での感染が疑われる事例も認められる。
- 感染経路不明の陽性者については、デルタ株スクリーニングの陰性割合が上昇しており、オミクロン株への置き換わりが進みつつある。

【今後の対策①】

- 全国的にオミクロン株の広がりとともに感染が拡大しており、道内でもオミクロン株の広がりにより新規感染者数がさらに増加し、医療への負荷が急速に高まるおそれがある。今後の新規感染者数の増加や医療の負荷の状況を慎重に見極めつつ、レベルの移行や対策の検討を行いながら、さらに警戒感を高めて取組を進める。

総評 ②

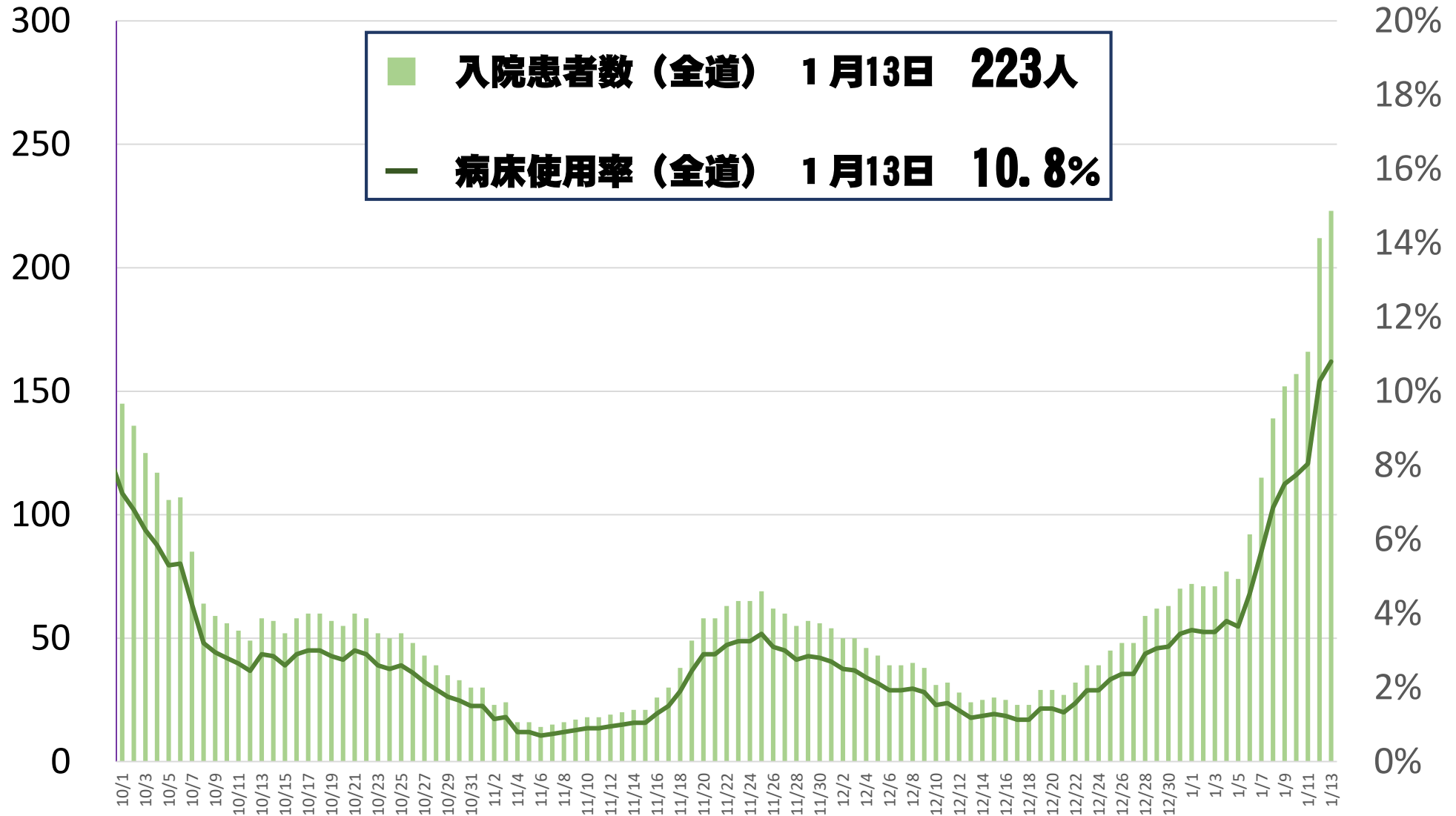
【今後の対策②】

- 医療提供体制の点検を行い、万全の体制で運用を行う。
 - ①確保病床数をさらに拡大するとともに、必要とする方を確実に医療につなげていく体制を整えるため、病床フェーズを引き上げ
 - ②訪問診療等の協力医療機関の増加を図るなど、自宅療養者の方への支援体制を強化
 - ③経口治療薬を取り扱う薬局等の更なる拡大を図り、供給体制を強化
- 必要な行政検査を迅速に行うとともに、感染に不安のある無症状の方を対象とした無料検査登録事業所の拡充を進める。
- 国の動向等を注視し、高齢者接種のペースアップ等を含め、ワクチンの3回目接種の円滑な実施に向けた市町村等への支援に取り組む。
- 全道各地で感染者が確認されている状況を踏まえ、市町村や関係団体等と連携し、感染防止行動の実践等について呼びかける。特に、飲食の場面に起因する集団感染が続いていることから、繁華街等における注意喚起を行うなど、取組を強化する。
- 感染拡大により、従業員が出勤できなくなる事態を想定し、BCP(業務継続計画)の点検、作成などを働きかける。

入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

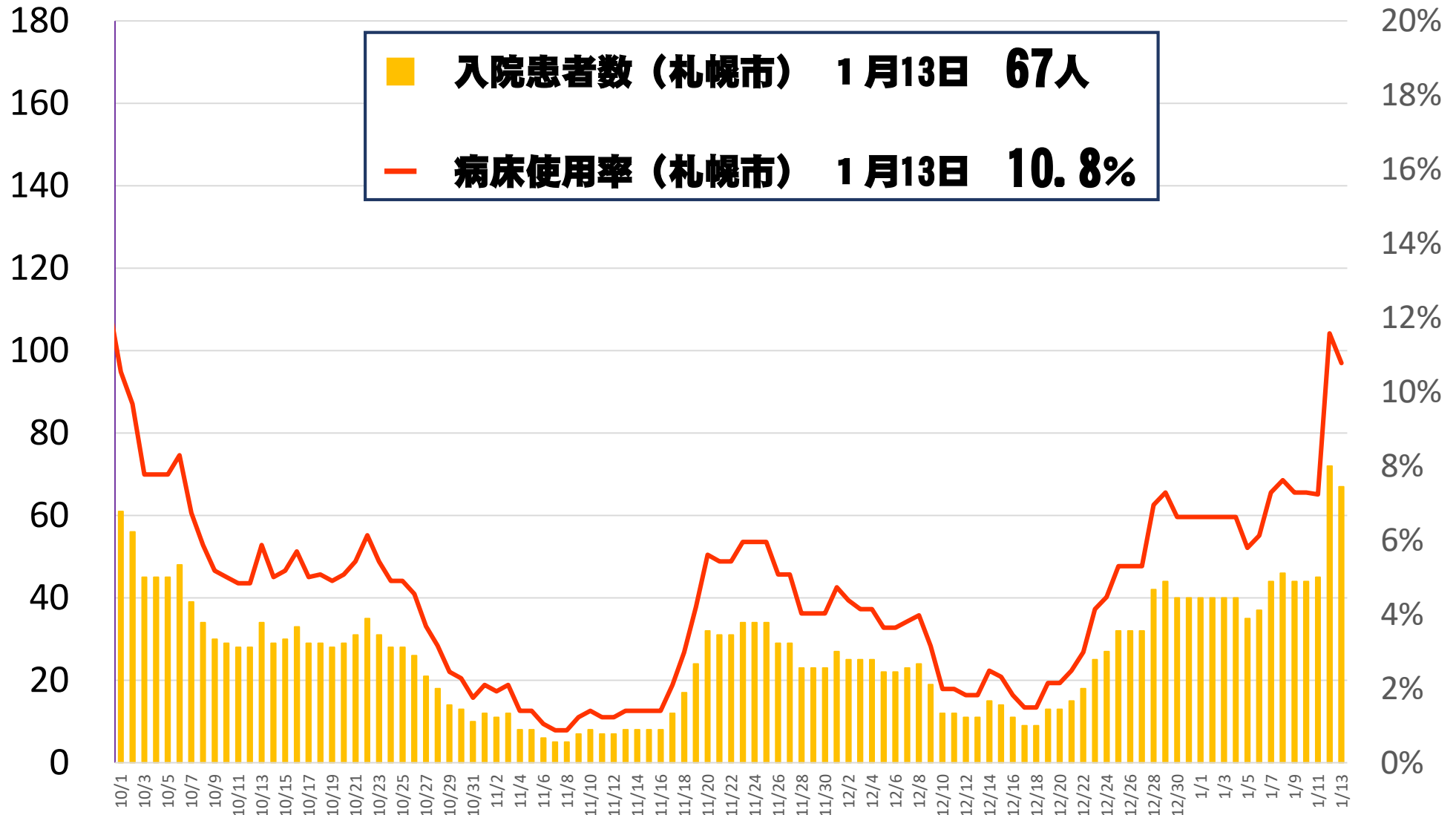
病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

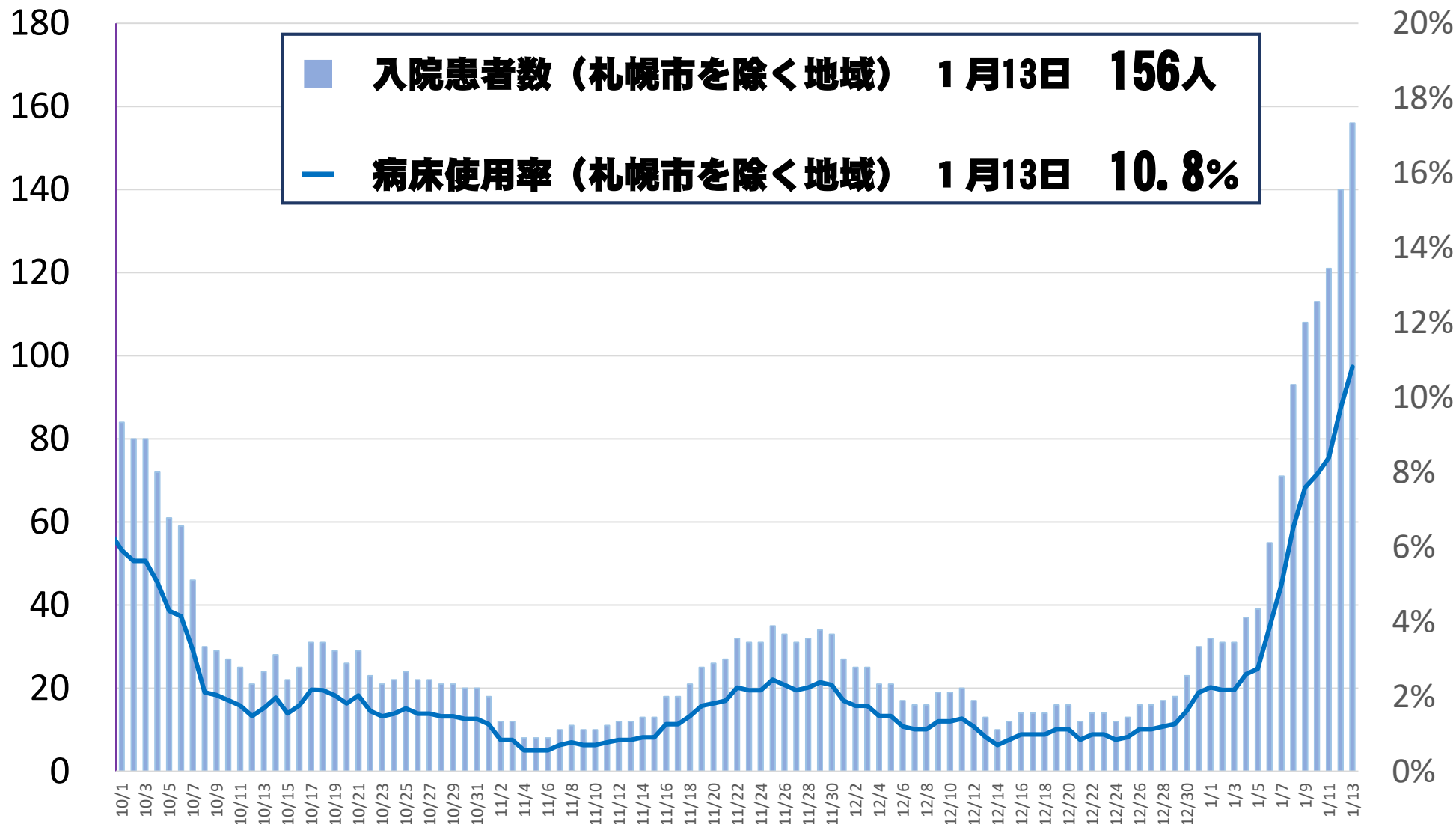
病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

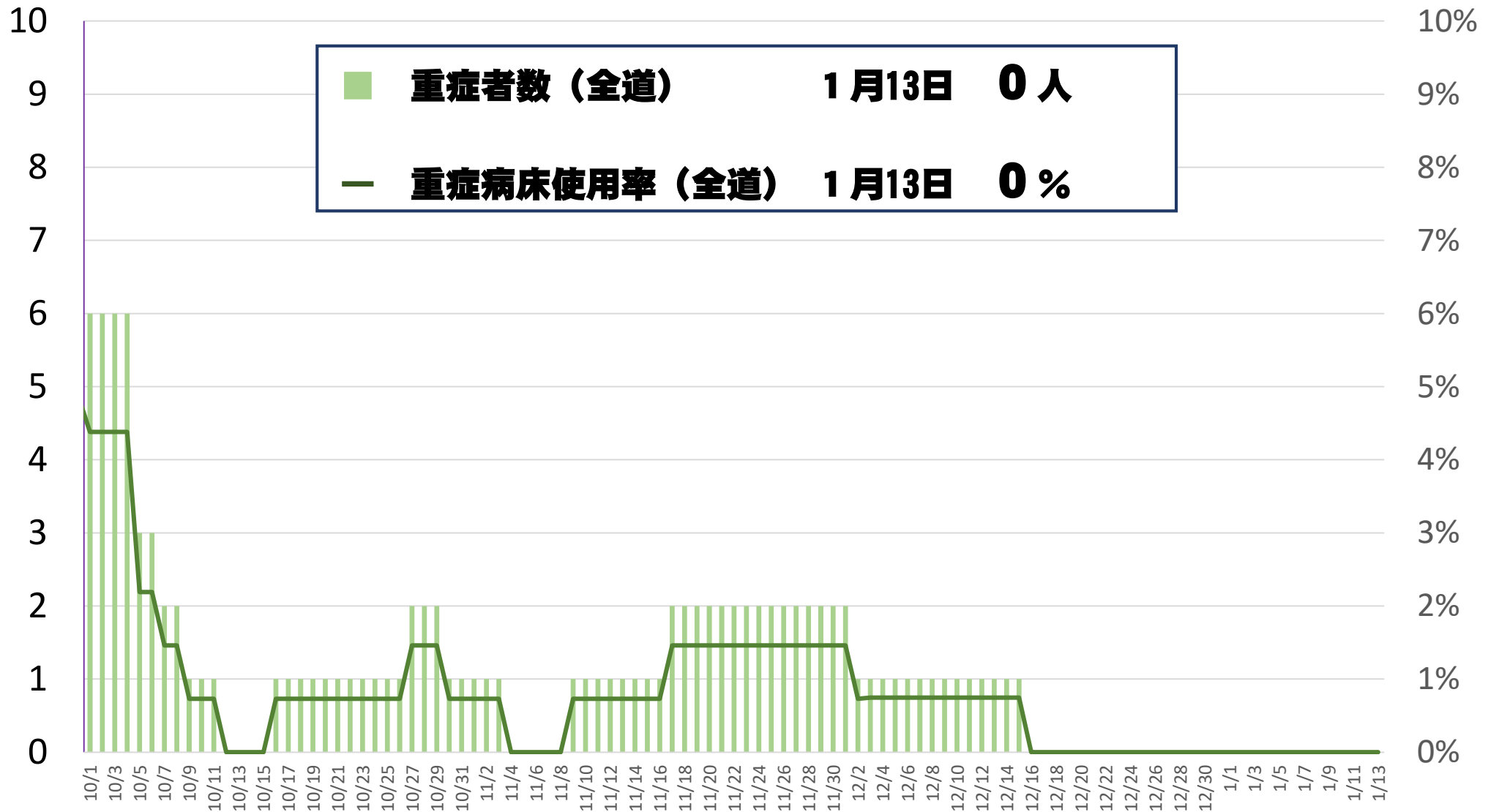
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

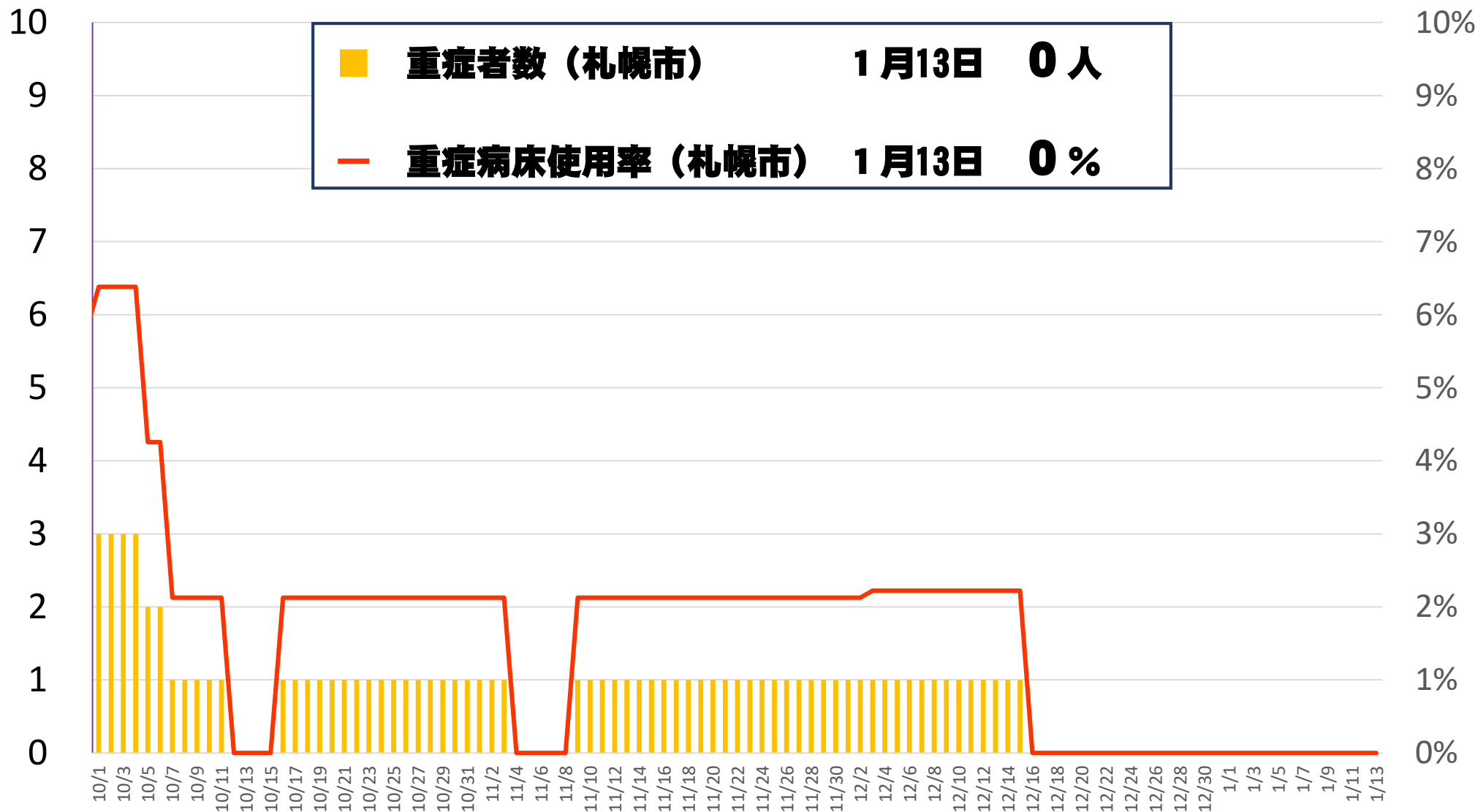
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

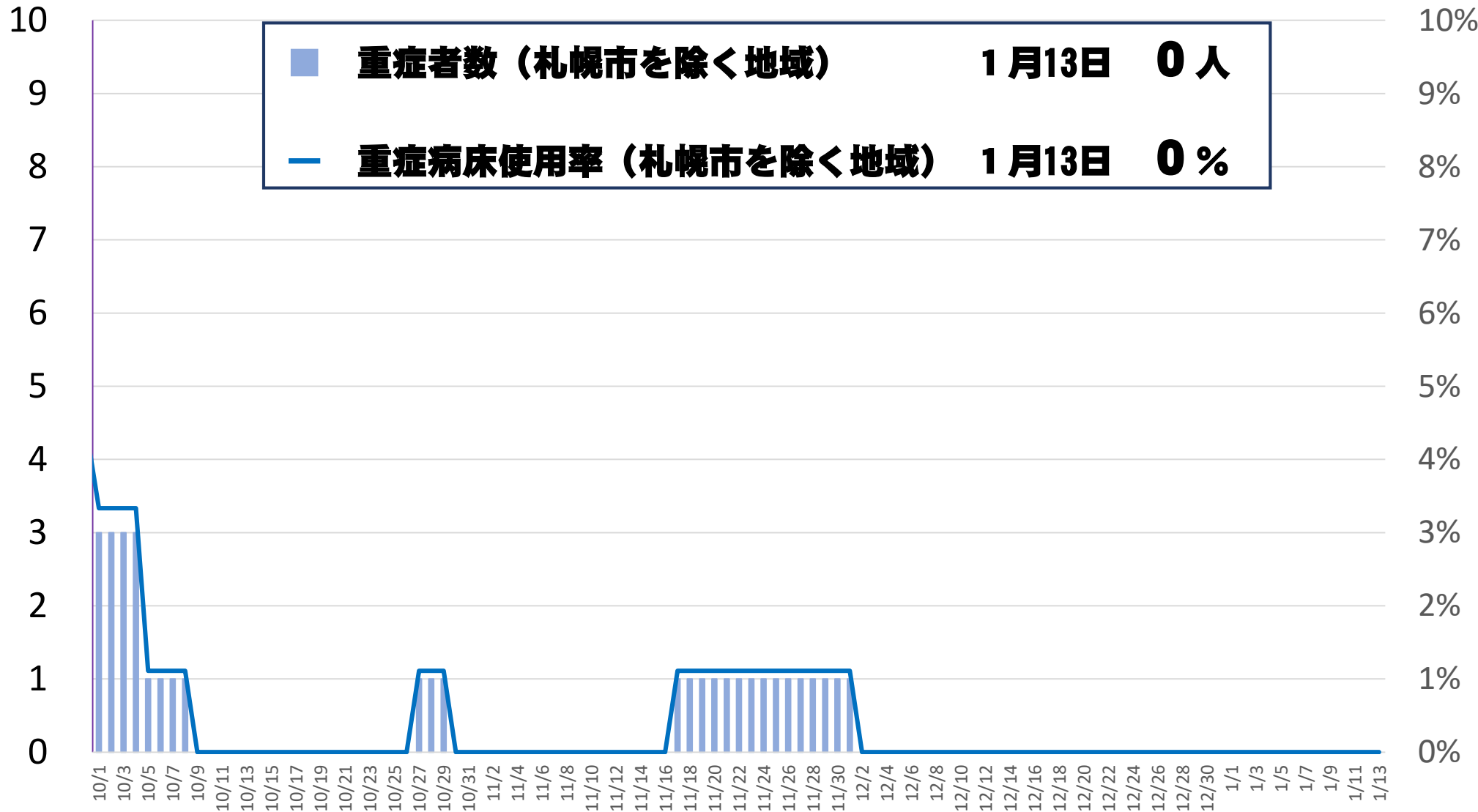
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

病床使用率



療養者数（全道）



療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)

1,500 (人)

100%

■ **新規感染者数（全道）** 1月13日 **1,091人**（10万人あたり**20.9人**）
— **感染経路不明割合（全道）** 1月13日 **40.1%**

1,000

90%

500

80%

0

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

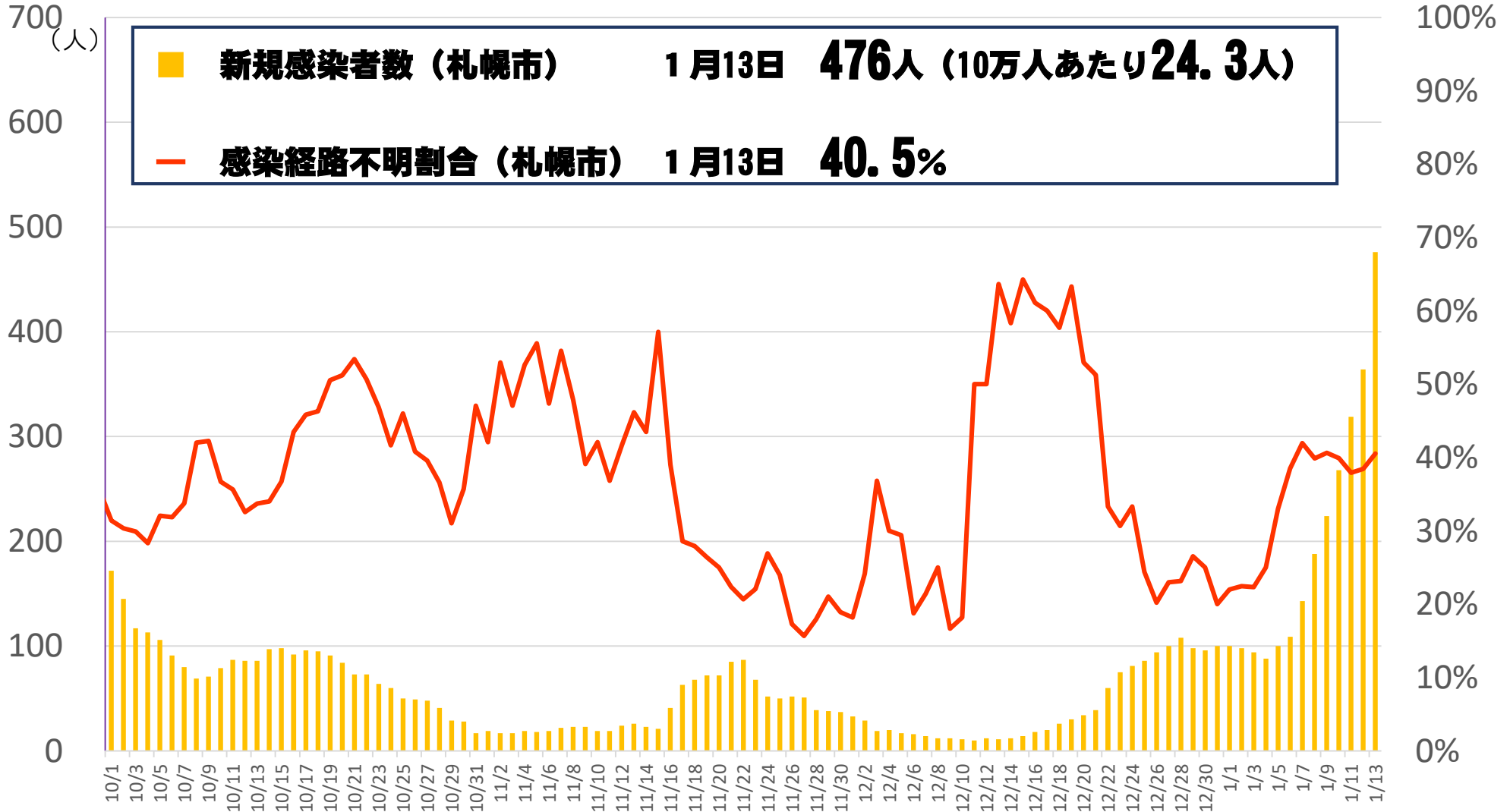
0%

10/1 10/3 10/5 10/7 10/9 10/11 10/13 10/15 10/17 10/19 10/21 10/23 10/25 10/27 10/29 10/31 11/2 11/4 11/6 11/8 11/10 11/12 11/14 11/16 11/18 11/20 11/22 11/24 11/26 11/28 11/30 12/2 12/4 12/6 12/8 12/10 12/12 12/14 12/16 12/18 12/20 12/22 12/24 12/26 12/28 12/30 1/1 1/3 1/5 1/7 1/9 1/11 1/13

新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)

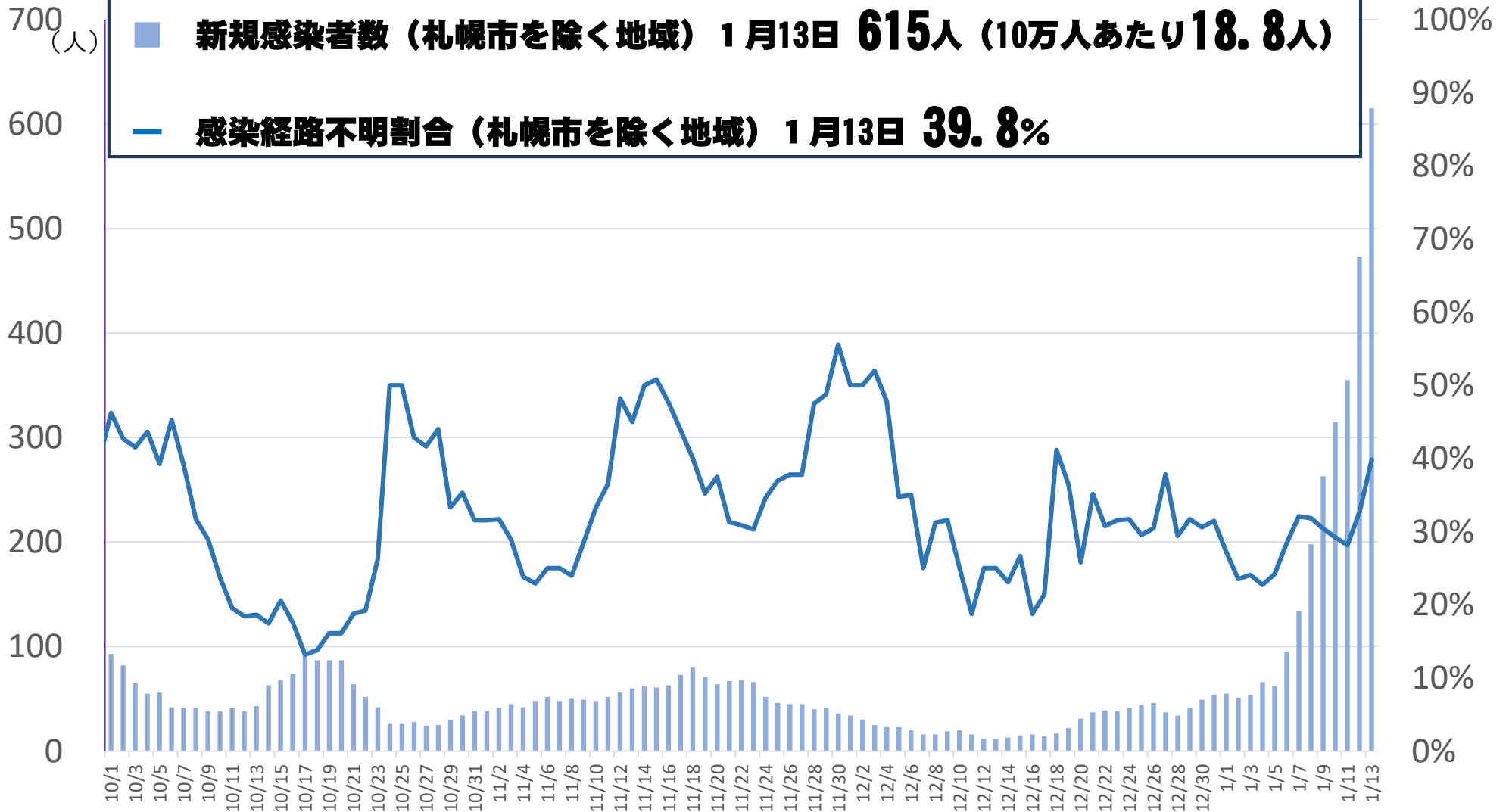
感染経路不明割合
(7日間平均)



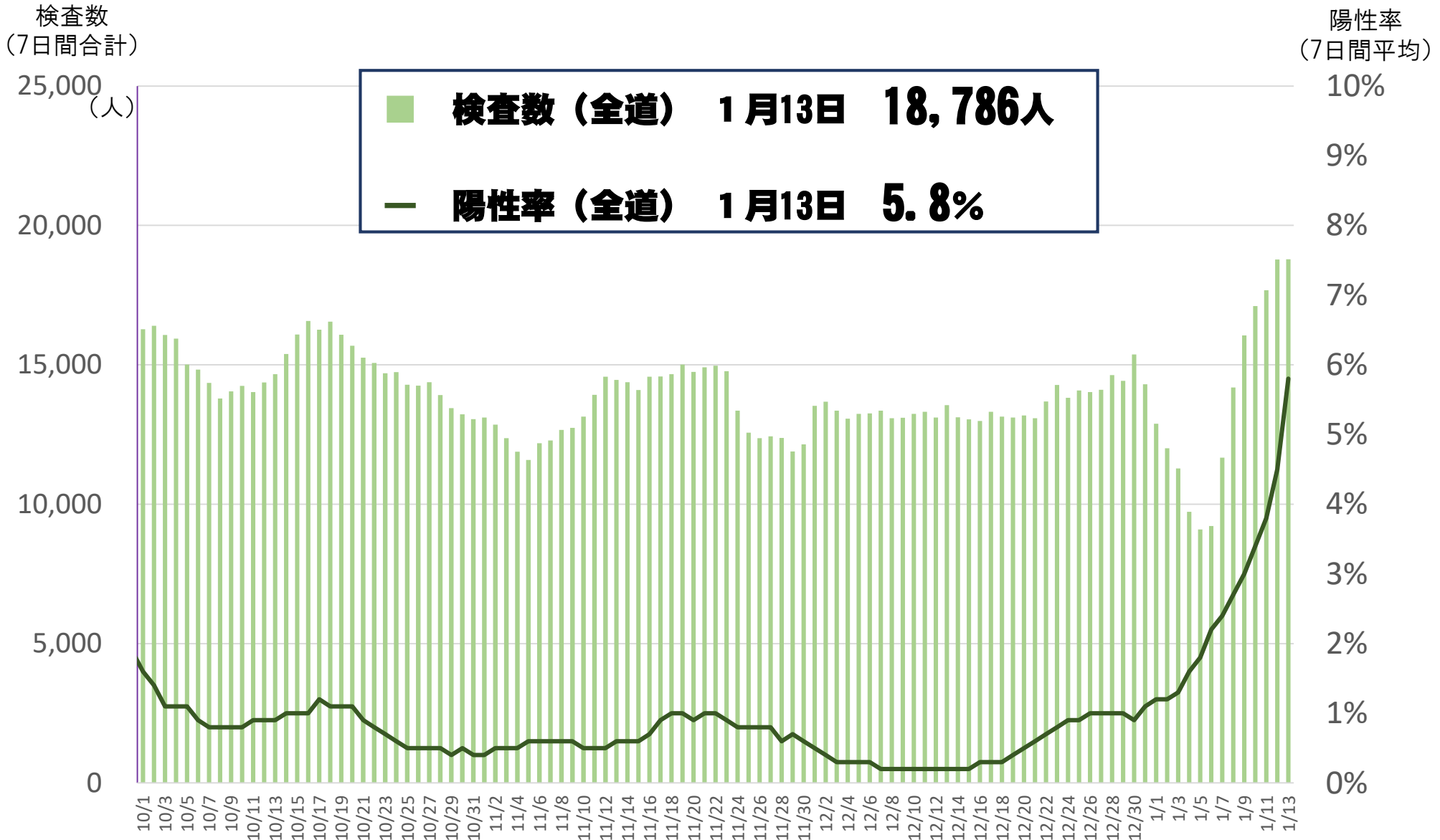
新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

新規感染者数
(7日間合計)

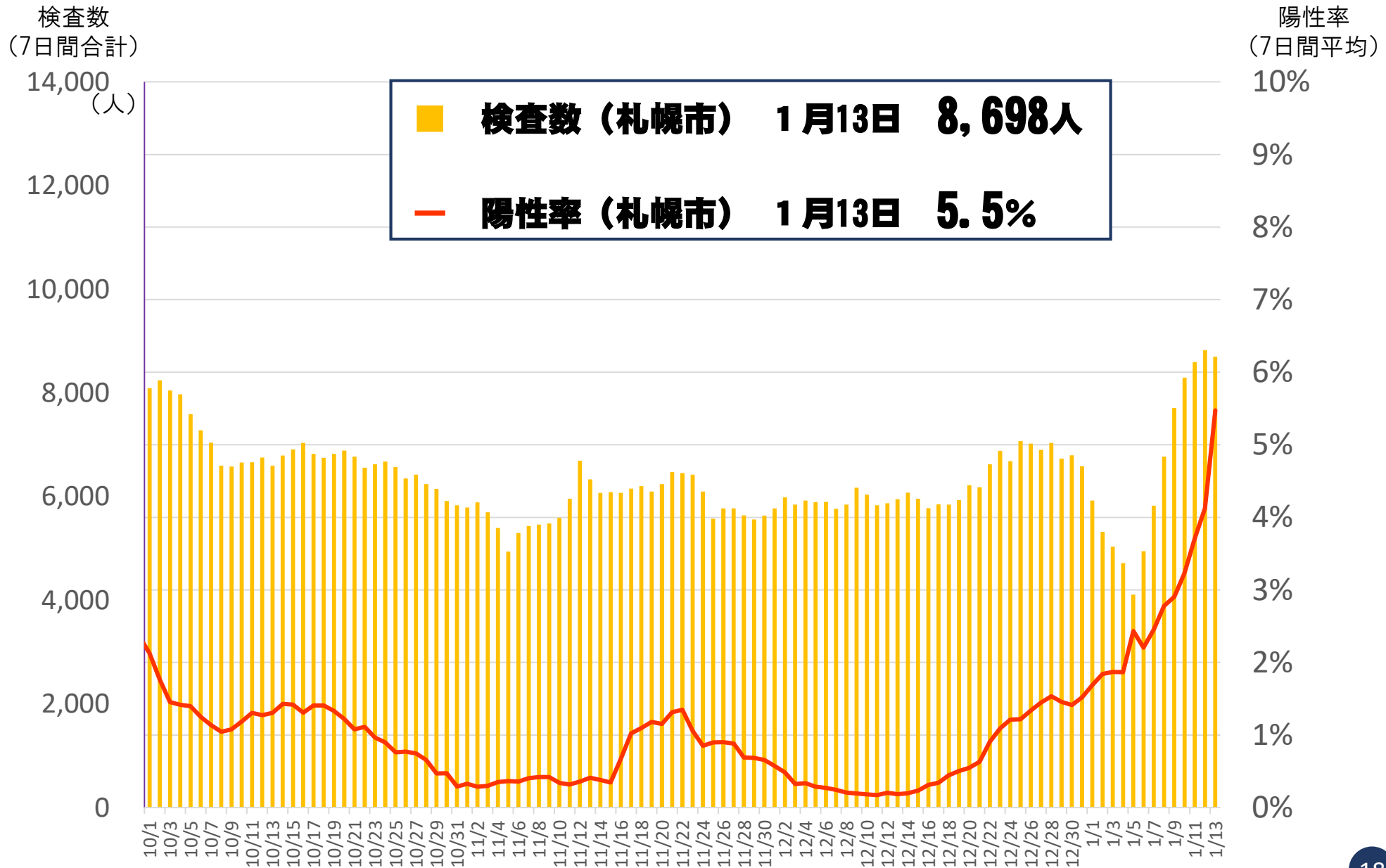
感染経路不明割合
(7日間平均)



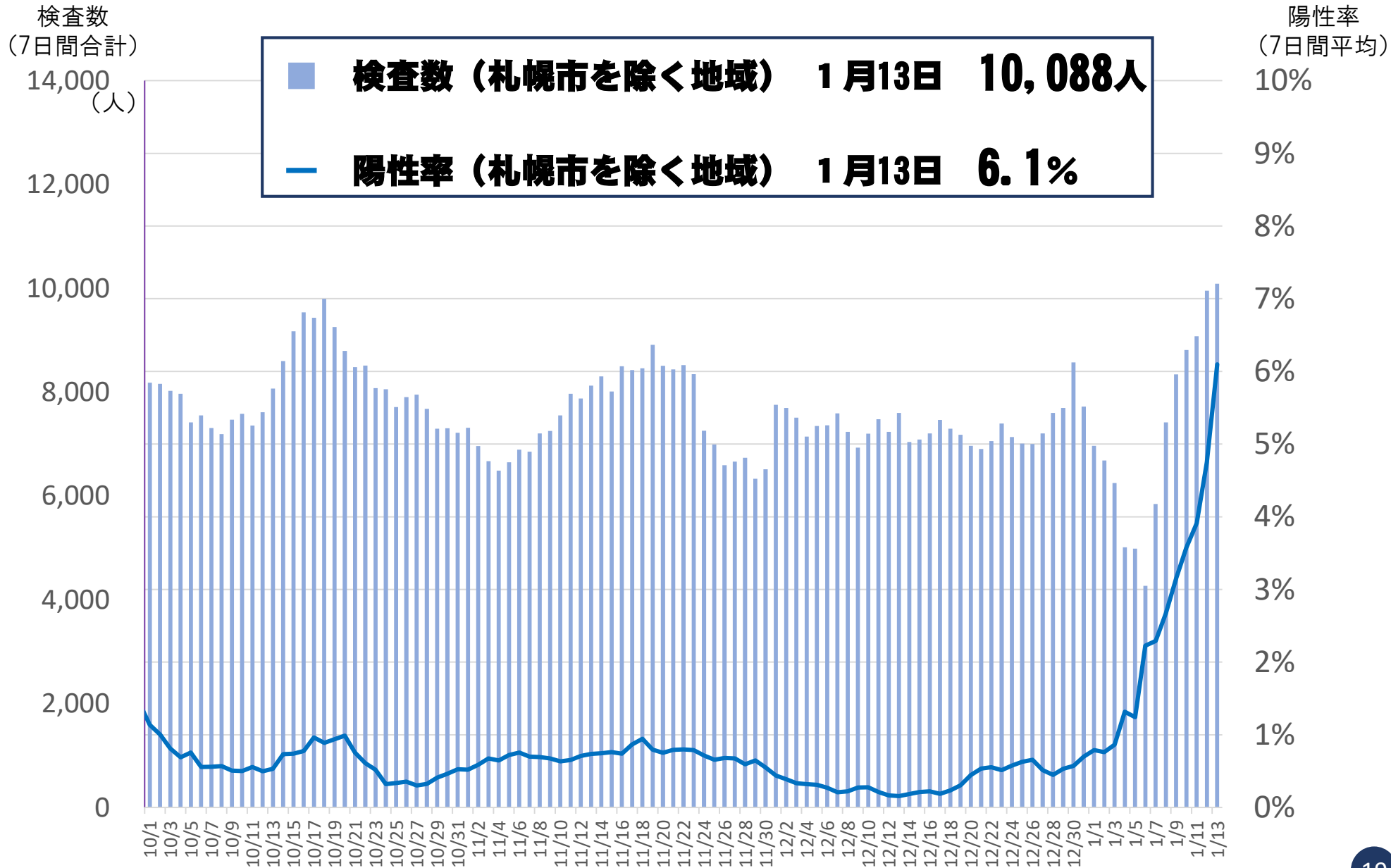
検査数と陽性率（全道）



検査数と陽性率（札幌市）



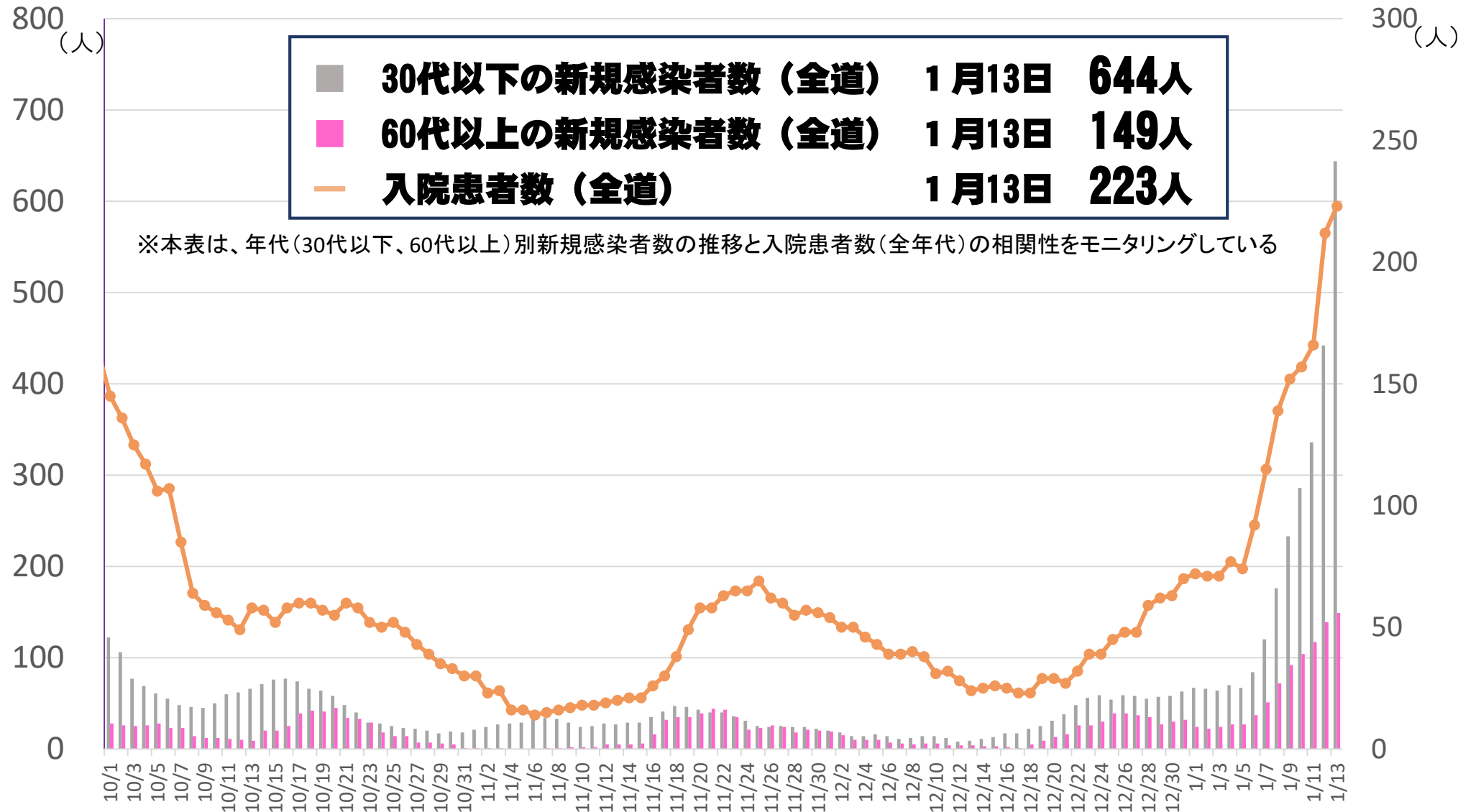
検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数
(7日間合計)

入院患者数
(人)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

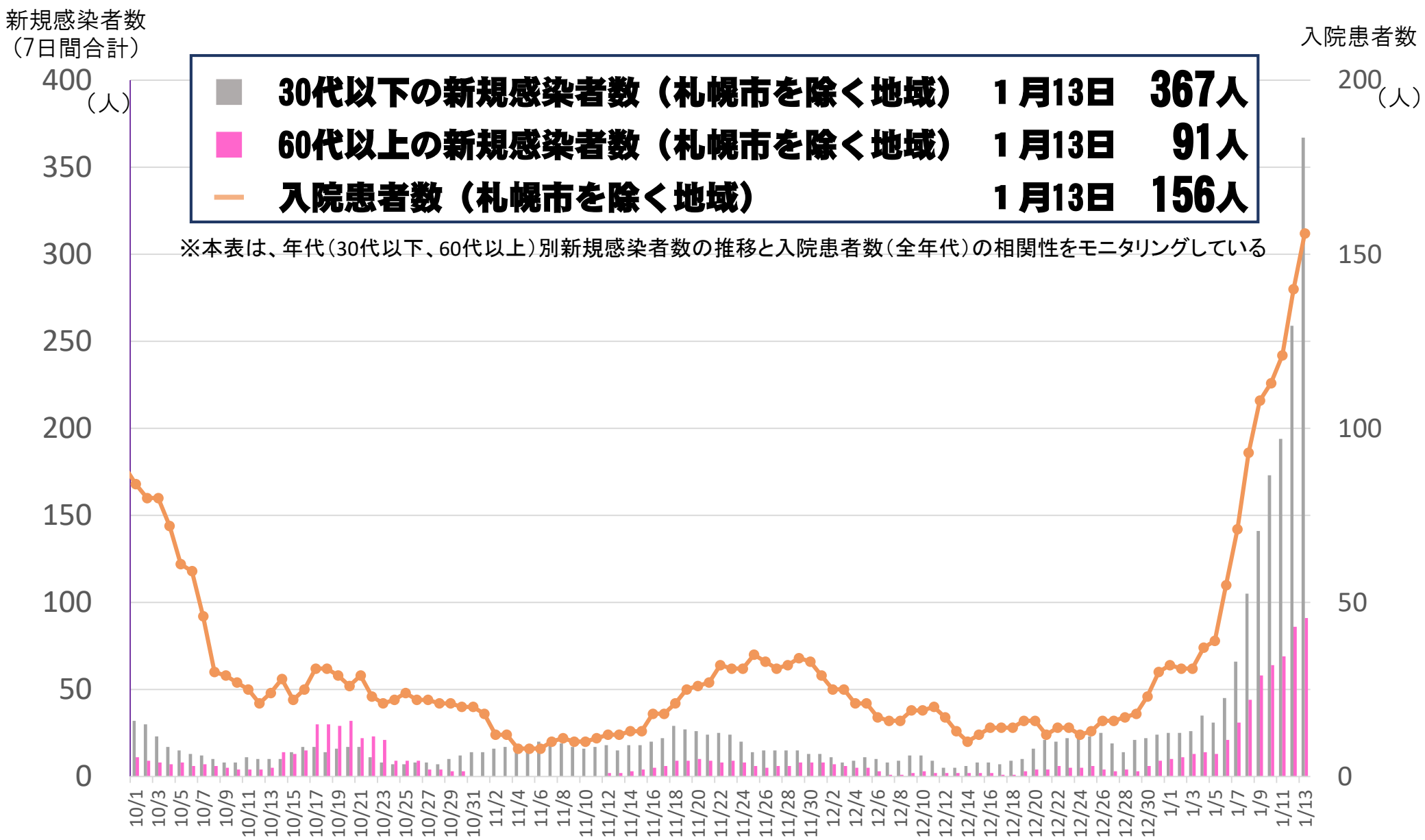
新規感染者数
(7日間合計)

入院患者数



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

デルタ株スクリーニング検査の状況(全道分)

期 間	デルタ株 スクリーニング 検査数	デルタ株 陰性数 (オミクロン株疑い)	(※)デルタ株 スクリーニング 検査陰性割合
-----	------------------------	---------------------------	------------------------------

12/24~30

216

2

1.0%

12/31~1/6

251

62

29.4%

1/7~13

587

285

57.9%

※スクリーニング検査数から検出不能な検体数を除いて陰性率を算出

集団感染の発生状況(月別)

	11月			12月			1月(1/1~13)		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設 福祉施設	2件 (81人)	1件 (72人)	1件 (9人)	5件 (120人)	4件 (114人)	1件 (6人)	6件 (72人)	2件 (16人)	4件 (56人)
事業所等	—	—	—	1件 (9人)	—	1件 (9人)	1件 (10人)	—	1件 (10人)
飲食店等	3件 (21人)	—	3件 (21人)	2件 (12人)	—	2件 (12人)	9件 (88人)	—	9件 (88人)
学校	1件 (9人)	—	1件 (9人)	1件 (9人)	—	1件 (9人)	—	—	—
合計	6件 (111人)	1件 (72人)	5件 (39人)	9件 (150人)	4件 (114人)	5件 (36人)	16件 (170人)	2件 (16人)	14件 (154人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(直近3週間)

	12/24~30			12/31~1/6			1/7~13		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設 福祉施設	3件 (48人)	3件 (48人)	—	1件 (32人)	—	1件 (32人)	5件 (40人)	2件 (16人)	3件 (24人)
事業所等	—	—	—	—	—	—	1件 (10人)	—	1件 (10人)
飲食店等	1件 (7人)	—	1件 (7人)	2件 (11人)	—	2件 (11人)	8件 (82人)	—	8件 (82人)
学 校	1件 (9人)	—	1件 (9人)	—	—	—	—	—	—
合 計	5件 (64人)	3件 (48人)	2件 (16人)	3件 (43人)	—	3件 (43人)	14件 (132人)	2件 (16人)	12件 (116人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。1/12現在)

<初回(1・2回目)接種の状況>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,202,783	80.4%	4,132,552	79.0%
(参考) 全国	100,916,052	79.7%	99,382,826	78.5%

<追加(3回目)接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	39,580	0.8%
(参考) 全国	1,035,965	0.8%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力 of 職域接種分は含まない。また、初回接種における医療従事者等及び追加接種の全国分接種者数は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

2 追加(3回目)接種等について①

- 1月11日の岸田総理会見において、追加(3回目)接種に関し、高齢者接種のペースアップ及び3月以降の一般の方の接種前倒し等について言及され、13日に「2回目接種完了から8か月以上の経過を待たずに追加接種できる場合」について更なる整理がされた。

区 分		従前の取り扱い(12/17国事務連絡)	今回整理(1/13国事務連絡)
接種間隔 (2回目接種完了から8か月経過を待たず追加接種できる場合)	①医療従事者等 ②高齢者施設等の入所者及び従事者 ③通所サービス事業所の利用者及び従事者 ④病院及び有床診療所の入院患者	2回目接種完了から 6か月以上	2回目接種完了から 6か月以上
	⑤その他の高齢者	【令和4年2月以降】 2回目接種完了から 7か月以上	【令和4年2月以降】 2回目接種完了から 7か月以上 【令和4年3月以降】 2回目接種完了から 6か月以上 (*1)
	⑥上記以外の方(職域追加接種含む)	2回目接種完了から 8か月以上	【令和4年3月以降】 2回目接種完了から 7か月以上 (*2)
(*1) ①～④について一定の完了が見込まれた段階で、2回目接種完了から6か月以上経過している⑤について、令和4年3月を待たず追加接種を検討。 (*2) ①～⑤について一定の完了が見込まれた段階で、2回目接種完了から7か月以上経過している⑥について、令和4年3月を待たず追加接種を検討。			
その他留意事項 (1/13国事務連絡関係)	・追加接種の促進に向け、各市町村に対し、接種券送付の加速化や接種券なしでの接種の方法も検討すること等について要請。 ・接種実績については、VRS(ワクチン記録接種システム)登録ベースで公表されるほか、4月以降の国からのワクチン配分は、追加接種実績を踏まえて調整を行う場合もあり得るとされており、VRSへの速やかな登録が必要。		

道としても、今後の動向を注視するとともに、優先的に接種を行うこととされた者への接種や、接種間隔の前倒しに伴う課題の把握等、市町村等と連携し、円滑な接種が進むよう取り組む。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 追加(3回目)接種等について②

- 職域追加接種については、昨年12月13日から国において受付開始。道内では1月13日時点で57件の申請があった。

職域追加接種は、本年3月以降の接種開始が予定されているが、2回目接種完了からの接種間隔について、「7か月以上」に短縮されることとなった。

道としても、引き続き、各種情報提供などを含めた実施企業等の支援に努める。

- 追加(3回目)接種開始後も、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、本年9月30日まで初回接種が引き続き可能。

オミクロン株の感染拡大を踏まえ、岸田総理会見や厚労省のアドバイザリーボードでも、未接種の方へのワクチン接種が勧奨されていることなどから、今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。

また、5歳以上11歳以下の小児への接種については、薬事承認等の手続きを経た上で、3月以降に開始される見込みであることから、引き続き情報収集等に努める。